

## 福祉サービスの組織と経営

問題 119 社会福祉法人に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 第二種社会福祉事業の経営主体は、社会福祉法人に限られる。
- 2 社会福祉法人は、社会福祉事業の主たる担い手である。
- 3 社会福祉法人は、他の社会福祉法人と合併することはできない。
- 4 社会福祉法人の非営利性とは、収益を出してはならないという意味である。
- 5 社会福祉法人には、株式会社の法人税率と同じ税率が適用される。

問題 120 医療法人及び特定非営利活動法人に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 医療法人は剰余金の配当が可能である。
- 2 第5次医療法改正の施行後に設立される医療法人には出資持分が認められている。
- 3 社会医療法人は、収益業務を行うことができない。
- 4 特定非営利活動法人の解散時の残余財産は、定款で定めた他の特定非営利活動法人等に帰属する。
- 5 特定非営利活動法人における各社員の表決権は平等ではない。

問題 121 次の記述のうち、個人が暗黙的に行ってきた仕事の仕方(暗黙知)を形式知化する方法に当たるものとして、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 OJTを通して、先輩職員の仕事の仕方を模倣する。
- 2 各担当係が紙媒体で管理していた業務記録を電子データベース化する。
- 3 熟練の職員が行う仕事の仕方を文章化し、マニュアルを作る。
- 4 法人の理念と行動規範を毎日唱和し、職員に周知させる。
- 5 新人教育でマニュアルの読み合わせを徹底し、マニュアルがなくても仕事ができるようにする。

問題 122 集団のパフォーマンスに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 リーダーを中心にまとまりの良い集団では、集団浅慮は起きない。
- 2 社会的手抜きは、集団の作業では発生しない。
- 3 社会的促進は、複雑で不慣れな課題遂行時に起きる。
- 4 グループ間のコンフリクトは、あるグループが他のグループに対して優位に立ち上るときに生じる。
- 5 チームでメンタルモデルが共有されていると、チームのパフォーマンスが減退する。

問題 123 リーダーシップに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 コンティンジェンシー理論では、特定のリーダーシップ行動の普遍的有効性を重視する。
- 2 行動アプローチでは、リーダーシップという影響力の実体をリーダー個人の身体的・精神的資質として捉える。
- 3 変革型リーダーシップ論では、メンバー個々の動機づけや知的刺激を排除するリーダーの行動を重視する。
- 4 リーダーシップの特性論では、課題志向型と人間関係志向型の二つの行動を重視する。
- 5 フォロワーシップ理論では、フォロワーの自律性を引き出すリーダーの役割を重視する。

問題 124 社会福祉法人の経営・会計に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 法人全体の財務諸表を作成しなければならない。
- 2 貸借対照表の貸方(右側)には、固定資産が計上される。
- 3 減価償却費はコストであるため、法人外部に資金流出する。
- 4 アカウンタビリティとは、間接金融を指す。
- 5 借入金返済の財源として、外部寄附者による寄附金を用いてはならない。

問題 125 組織で働く者の労働意欲やキャリア形成に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 ハーズバーグ(Herzberg, F.)は、仕事に積極的な満足を与える要因として、監督技術、作業条件、給与などの衛生要因を重視した。
- 2 マズロー(Maslow, A.)は、自己実現の欲求が達成されれば、仕事のやる気は低下すると考えた。
- 3 コーチングとは、上司からの指示・命令により従業員の労働意欲を向上させる方法のことである。
- 4 キャリアアンカーとは、組織が個人にふさわしいキャリア展開を前もって計画することをいう。
- 5 メンタリングは、メンティー(メンタリングの受け手)のキャリア形成の促進を目的とする。